

第3号様式（第1条関係）

実務経歴証明書（免許）

① 令和〇年 〇月 〇日

三重県知事 宛て
指定登録機関

（一般社団法人 三重県建築士会）

〇〇県〇〇市 〇〇部長

② 証明者 登録 太郎

③ 住所・所在地 〇〇県〇〇市〇〇町〇丁目〇番地

④ 電話番号 〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇〇

⑤ 免許申請者との関係 申請者が所属する部署の
所属長

下記の者が申請した 二級 木造 建築士免許申請書に添付された実務経歴書は、事実と相違
しないことを証明します。

記

⑥ 1. 免許申請者氏名 建築 士郎

⑦ 2. 建築実務経験

建築実務経験期間の合計： 2 年 0 月

⑧ 建築実務の内容：

- ・〇〇市における木造住宅耐震改修促進事業において、木造住宅の耐震改修費用の補助申請に関する関係書類の審査の補助、及び完了報告書の審査の補助を担当。（〇件）
- ・〇〇市において、特定空き家等の可能性が高い建築物について、現地調査で老朽度や危険度等のチェック等の業務を担当。（〇件）

備考

- 1 □のある欄は該当する□の中にレ印をつけること。
- 2 この実務経歴証明書は、実務経歴書毎に作成すること。
- 3 使用者その他これに準ずる者が実務経歴書の内容が事実と相違しないことを確認したことを証明すること。
- 4 虚偽の証明を行った場合、証明者は、建築士法上の処分や告発の対象となり得ます。

記入内容を下記にまとめます。

まず、「実務経歴書」にて勤務先が複数ある場合、それぞれの勤務先毎に作成をしてください。

①証明年月日

「実務経歴書」の「建築実務経験期間」に記入された日付より後である日付を記入してください。

②証明者

申請者が所属する行政・独立行政法人の部署等の公印を有する所属長の氏名を記入してください。

③住所・所在地

「②証明者」が所属する行政・独立行政法人の住所・所在地を都道府県から番地、ビル名等まで正確に記入してください。

④電話番号

「②証明者」が所属する行政・独立行政法人の電話番号を市外局番から記入してください。

⑤免許申請者との関係

免許申請者と「②証明者」の関係を記入してください。

⑥免許申請者氏名

実務経歴書に記入された免許申請者の氏名を記入してください。

⑦建築実務経験期間の合計

実務経歴書に記入された「建築実務経験期間の合計」と同期間を記入してください。

⑧建築実務の内容

実務経歴書に記入された「実務経験の対象となる業務の内容」を簡潔に記入してください。

建築実務が複数ある場合、すべてを記入してください。